

【別紙7】 事故にあわないために・事故が起きたら

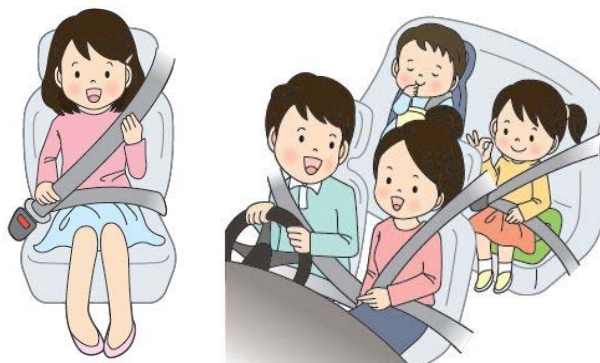
～ 高速道路を安全に快適にご利用いただくために ～

●クルマに乗車したら、まずはシートベルトの着用を！

シートベルトは、衝突の際、車内でハンドルやフロントガラスに胸や頭をぶつける二次衝突や車外への放出を一定の範囲で防止する効果があります。**忘れずに、全席シートベルトを着用しましょう。**

※高速道路では、後部座席を含む全席でシートベルト着用が法律で義務づけられています。

- 1 腰ベルトは腹部ではなく腰骨にかかるように
- 2 肩ベルトは肩の中心位置になるように
- 3 ベルトはねじれないように
- 4 バックルは「カチッ」の音を確認



●渋滞を発見したら、早めのブレーキとハザードランプで後方への注意喚起も忘れずに！

●万一、事故が起きてしまったら、絶対に歩き回らない！

事故などでやむを得ず停止した場合は本線・路肩を歩き回らないでください。**高速道路は一般道とは違います！** 同じ感覚での行動は絶対にやめ、速やかに車を路肩に移動させ、移動が不可能な場合は以下の項目を最優先してください。



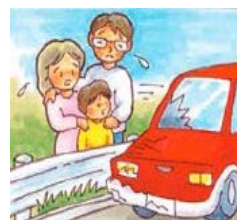
⇒後続車に合図！

後続車の運転者が停止車両に気づいているとは限りません。 ハザードランプの点灯、発煙筒の設置、三角停止表示板を設置し、後続車両に対する安全措置を行ってください。



⇒安全な場所へ避難！

運転者も同乗者も全員、通行車両に十分注意しガードレールの外側など**安全な場所に待避してください。車の中に留まることは危険です。**



⇒避難をしてから通報！

110番・非常電話・道路緊急ダイヤル（#9910）などで通報！

※非常電話は本線上1kmおき、トンネル内は200mおきに設置



●旅行計画を立てる前・お出かけ前にもご確認ください

NEXCO東日本の情報サイト『ドラぶら』でも、高速道路を安全に快適にご利用いただくために、お客さまに知っていただきたい情報などを提供しています。（<http://www.driveplaza.com/safetydrive/>）